

Thirty-six Views of Mt-Fuji and One Hundred Views of Mt-Fuji

2016年1月2日(土)-2月14日

『冨嶽三十六景』より《凱風快晴》、《相州梅澤左》、《江都駿河町三井見世略圖》(3点とも部分) 文政(1818~30)末~天保(1830~44)前期

## まもなく開幕!

主要作品解説、特別展示石上和弘《裾野を歩く、 山腹に寝転がる》、関連グッズ、特別メニューにつ いて情報追加しました!

会 期:平成28(2016)年

1月2日(土)~2月14日(日)

会期中無休

開館時間:9:00~17:00

※金曜日は19:00まで ※入館は閉館30分前まで

料 金:一般 1100円 (900円)

> 高•大学生 700円 (500円) 小·中学生 400円 (200円) ※()内は前売・20名以上の団体料金



- JR広島駅より約1km
- ●広島城より約400m
- ●市内電車(「八丁堀」で乗り換え)白島線で「縮景園前」下車20m
- ●ひろしまめいぷる~ぷ(市内循環バス、JR広島駅新幹線口のり ば発着)「県立美術館前」下車(白島線沿い)



## 【展覧会概要】

葛飾北斎(1760-1849)は、90歳で没するまでの約70年にわたり、常に新たな様式に挑戦し続けた画人です。北斎の名を不動にしたのは、全作品に富士をあしらい、名所絵(風景画)というジャンルを定着させる要因となった『冨嶽三十六景』の存在です。また、その刊行後には、風景ばかりでなく故事説話も取り入れ、確かな描画力を示した『富嶽百景』を完成させています。本展では、この二大連作『冨嶽三十六景』、『富嶽百景』全148点に関連作品などを加えた159点を紹介します。北斎芸術の真骨頂をご覧ください。

### 【展覧会のみどころ】

稀代の絵師・葛飾北斎(1760-1849)の代表作『冨嶽三十 六景』。本シリーズでは、眺める場所や季節、天候によって見 え方が多彩に変貌する富士の姿が描かれています。高層建築 というものが無かった当時、江戸の至る所から見えるその泰然 と屹立した富士の相貌に、人々は強い親近感を覚えていまし た。

『富嶽三十六景』のうちの1点《諸人登山(もろびととざん)》には、富士山への信仰心を持つ人々が集まり、集団で富士に登拝する「富士講」の様子が描かれていると云われています。この『富嶽三十六景』が生まれた時代は、泰平の世が続いた江戸後期。五街道や宿場町の整備が進み、花見や名所めぐりなど、庶民はより四季折々の行楽を楽しむようになりました。江戸の町で流行したこの「富士講」も単純に信仰心だけに依るものではなく、富士への登山が行楽として楽しまれていたことを示しています。

版元の西村永寿堂は、そうした時代の潮流も鑑みて、北斎に富士の連作を描くよう依頼。西洋から輸入されたばかりのベロ藍(=プルシアンブルー)という顔料を用いることで、清々しい青色が印象的な『冨嶽三十六景』という名作が生まれました。他方、錦絵である「三十六景」の完成後に冊子本として制作された『富嶽百景』では、墨の濃淡を見事に使い分け、富士誕生の神話的場面から始まり、花鳥画から故事人物画まで、様々な趣向をこらした富士の姿が表現されています。

なお、北斎は若い頃から高い評価を得ていたにも関わらず、『富嶽百景』の初編跋文(ばつぶん)のなかで自作について「七十年前画〈所(=70歳以前に描いたもの)は実に取に足ものなし」と述べています。本展では、『冨嶽三十六景』と『富嶽百景』という、齢70を越えた円熟期の北斎による二大連作を一挙まとめて展示するという珍しい趣向となっています。唯一無二の北斎の不二、ぜひその眼でご覧ください。

# 北斎の富士

冨嶽三十六景と富嶽百景

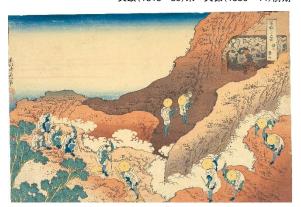
Mt-Fuji by Hokusai Thirty-six Views of Mt-Fuji and One Hundred Views of Mt-Fuji



『冨嶽三十六景』より《凱風快晴》 文政(1818~30)末~天保(1830~44)前期



『冨嶽三十六景』より《尾州不二見原》 文政(1818~30)末~天保(1830~44)前期



『冨嶽三十六景』より《諸人登山》 文政(1818~30)末~天保(1830~44)前期



『富嶽百景』より《登龍の不二》 天保6(1835)年

## 【主要作品解説】

すみ だ がわせき や

### 『冨嶽三十六景』より《隅田川関屋の里》

### 『冨嶽三十六景』より《五百らかん寺さざゐ堂》

「五百らかん寺さざゐ堂」とは、本所五ツ目の渡し場(現・東京都江東区)近くにあった天恩山五百羅漢寺の三匝堂のことです。三匝堂は、寛保元(1741)年、境内に建てられた三階建ての高楼で、右回りに上る螺旋状の廊下が栄螺に似ていることから、栄螺堂と呼ばれていました。遠近法が意識された構図になっており、床板の線や建物の屋根の延長線上にある富士山へ、いやがおうにも視線が引き寄せられます。

かけもの ほったん

### 『富嶽百景』より《掛物の發端》

障子をはずした窓の外には、富士の雄姿がそびえ立っています。得意気に窓外を指差す下僕と、驚いた様子を示す客の姿。窓の桟と上下の壁が掛軸の体裁となり、あたかも一幅の掛物を見るようです。一方、下僕の腰のはたきは側面の壁にある額を指し示しています。そこに揮毫されている漢詩によって、眼前に見える富士の景色を賞する、画賛の役割が果たされているようです。



### 『富嶽百景』より《鳥越の不二》

浅草鳥越には幕府の頒歴所御用屋敷(浅草天文台)が置かれ、
てんもんかた
天文方という役人が、天文・編暦・測量・地誌編纂・洋書翻訳な
どをつかさどっていました。天文台は高さ約9メートルの築山の
こんてん
上に築かれており、中央に描かれている奇妙な器械は、渾天
ぎ かんてん ぎ
儀(簡天儀)という、環を組み合わせ指針の回転によって天体
の位置を観測するためのものです。

## 北斎の富士

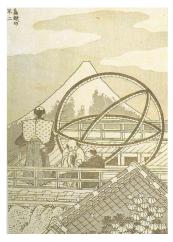
冨嶽三十六景と富嶽百景

Mt-Fuji by Hokusai
Thirty-six Views of Mt-Fuji and One Hundred Views of Mt-Fuji









## 北斎の富士 冨嶽三十六景と富嶽百景 Mt-Fuji by Hokusai Thirty-six Views of Mt-Fuji and One Hundred Views of Mt-Fuji

## 【媒体掲載用の画像提供について】

- ※いかなる場合も本プレスリリースからの転用はご遠慮ください。
- ※都合により出品作品が異なる場合がございます。ご了承ください。
- ※画像については提供が可能です。ご掲載の際に画像がご入り用の場合は、当館までお問い合わせ ください。
- ※画像掲載の際には、画像とテキストが掲載されたレイアウト原稿を事前に当館までご提出いただき、 1週間程度お時間を頂戴いたします。ご了承ください。

### 【関連イベント】

### 記念講演会「世界を驚かせた北斎」(共催 広島県立美術館 友の会)

日時:1月11日(月•祝) 13:30~15:00(開場30分前)

講師:浦上 満(浦上蒼穹堂代表、国際浮世絵学会常任理事)

会場:地階講堂 定員:200名(先着順) ※聴講無料、申込不要。

### ワークショップ「私の富士さん」(協力 泉美術館)

切り絵をカーボン紙とばれんで摺って着彩し、富士山を取り入れたあなただけの版画を制作しましょう。

日時:1月23日(土)13:30~15:30

講師:松尾真由美(広島市立大学芸術学部講師)

対象:全年齢(小学生以下は保護者同伴)

会場:地階講堂 定員:20名(先着順)

※要事前申込(当館へ電話申込)。参加費無料。

### ギャラリートーク

日時:毎週金曜日11:00~

講師: 当館学芸員

会場:3階企画展示室

※入館券が必要です。申込不要。会場入口でお待ちください。

### ウェブ・レポーター大募集

日時:1月15日(金)17:00~18:30

受付場所:3階ロビー 実施場所:3階展示室内

対象:ホームページ、ブログ、ツイッター、フェイスブックなどのSNSにて情報発信をされている一般の方

(参加者は、実施日時に限り本展にご招待)

## 【お正月特典!和装来館割引】

新春の晴れ着姿はとっても素敵!着物で来館のお客様はとってもお得!

当日料金より200円引きでご鑑賞いただけます。

日時:1月2日(土)~2月14日(日)9:00~16:30

場所:広島県立美術館1階受付

※金曜日は18:30まで

## 北斎の富士

冨嶽三十六景と富嶽百景 Mt-Fuji by Hokusai Thirty-six Views of Mt-Fuji and One Hundred Views of Mt-Fuji

### 【特別展示 石上和弘《裾野を歩く、山腹に寝転がる》】

登って、撮って、楽しもう! 富士山をモチーフにした木彫がロビーに登場します。静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」で開催された2013年「富士山の日(2月23日)」のイベントのために制作した作品。木製の富士山の直径は約5メートル。裾野を歩くもよし、山腹に寝転がるもよし、もちろん山頂に立って記念撮影もできます。楠や杉といった木材の感触、香りとともに全身で富士山をお楽しみください。

作家略歴:石上和弘(1966-)

静岡市生まれ。1991年武蔵野美術大学彫刻学科卒業、静岡市在住、木やFRPを素材に彫刻を制作しています。あいちトリエンナーレ2013キッズトリエンナーレで《裾野を歩く、山腹に寝転がる》を使ったワークショップ「私の心が雲に乗る」を開催。



石上和弘「裾野を歩く、山腹に寝転がる」 2013年、木製(杉・楠材)、直径540cm

## 【関連グッズ】

### 一筆箋 432円(税込)

北斎の『冨嶽三十六景』、『富嶽百景』はもちろん、横山大観、岩橋英遠、中島千波らの描いた富士の一筆箋もご用意。(提供:カツノアート)

### ケース3776(ティッシュケース) 1,620円(税込)

ケース自体には富士山の七合目あたりまでしか描かれていませんが、 ご覧の通りティッシュをちょっとつまみ出すと富士山が完成します。背面 にチャックもついていてICカードやコインなども携行できる、ちょっと気の 利いたティッシュケースです。(提供:goodbymarket)

### 染絵でぬぐい「赤富士」 2.800円(税込)

木綿に染めの江戸のてぬぐいなので色のメリハリはパリっと!グラデーションの部分は味わい深く、使い込むほどに風合いが増していきます。「赤富士」は富士を遠望するような奥行き感ある構図をとくとお楽しみください。(提供:ふじ屋)



・ 染絵でぬぐい 「赤富士」

## 【特別メニュー】

### 1階レストラン ゾーナ イタリア イン・チェントロ

### 葛飾北斎『冨嶽三十六景』よりスパゲティー「凱風快晴」

晴れた空に白雲、夏の朝日を浴びて赤く染まる富士は、通称「赤富士」と呼ばれ縁起のよい画題とされてきました。本展の特別メニューでは、北斎の『冨嶽三十六景』より「凱風快晴」をイメージした一皿をご用意しました。赤富士の赤をイメージした酸味のやさしいトマトクリームパスタの上から、富士山の雪をイメージしてナポリ産のモッツァレラチーズを香ばしく炙ってトッピング。富士山の周辺で特産とされるニジマス(サーモン)をヒントにパスタにもサーモンのソテーを添えました。北斎の富士をお楽しみいただいた後は、こちらの赤富士もぜひご堪能ください。

さらに、富士山にちなんだデザートも登場予定!(カフェタイムのみ提供) こちらも合わせてご期待ください。

### 価格 1,680円(単品・税込)

※いずれのパスタもプラス料金でランチセットとしてもお楽しみいただけます。詳しい内容などは「ゾーナイタリア イン・チェントロ」にお問い合わせください。



ケース3776(ティッシュケース)



葛飾北斎『冨嶽三十六景』より スパゲティー「凱風快晴」

## 北斎の富士 冨嶽三十六景と富嶽百景 Mt-Fuji by Hokusai Thirty-six Views of Mt-Fuji and One Hundred Views of Mt-Fuji

### 【特別メニュー】

3階ティールーム 徒夢創家(トムソーヤ)

### 「冬富士羊羹とお抹茶セット」

明治44年創業の富士河口湖町の和菓子専門店「金多留満」の冬季限 定「冬富士羊羹」が北斎の富士展特別メニューとして登場します!

「冬の富士山を黒糖羊羹・白小豆羊羹で形作り、黒胡麻を使用した胡麻 羊羹で冬空を、降る雪は白胡麻で表現した、冬季限定の富士山羊羹で す。」(金多留満公式ホームページより)季節や気象変化による多彩 な富士の表情を描いた北斎の富士をお楽しみいただいたあとは、香ば しい胡麻の風味かおる羊羹とお抹茶で冬の美しい富士山に思いを馳せ てみてはいかがでしょうか。



冬富士羊羹

### 価格 550円(税込)

※お抹茶付き

### 【同時開催】(2階展示室)

2016年1月10日(日) ~2016年4月10日(日) 形と彩の前衛 ―高橋秀を中心に 2016年1月10日(日) ~2016年4月17日(日) 北斎の富士展開催記念展示 絶景かな絶景かな

### 【開催概要】

展覧会名称:北斎の富士 冨嶽三十六景と富嶽百景

展覧会英語名: Mt.Fuji by Hokusai: Thirty-six Views of Mt.Fuji and One Hundred Views of Mt.Fuji

料金:一般 1,100(900)円 高·大学生700(500)円 小・中学生400(200)円

- ※()内は前売り・20名以上の団体料金
- ・学生券をお求めの際は学生証のご提示をお願いします。
- 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳及び戦傷病者手帳の所持者と介助者(1名まで) の当日 料金は半額です。

### 前売券販売所:

広島県立美術館、セブン・イレブン(セブンコード: http://7ticket.jp)、広島市・呉市内の主なプレイガイド・画 廊・画材店、ゆめタウン、フジ、中国新聞社読者広報部、中国新聞各販売所(取り寄せ)など

#### 開催クレジット:

主催 広島県立美術館、イズミテクノ、広島ホームテレビ、中国新聞社

後援 中国放送、広島テレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、エフエムふくや ま、尾道エフエム放送、FMはつかいち76.1MHz、FM東広島89.7MHz

協賛 広島県信用組合

企画協力 アートワン

#### 問い合わせ先:

広島県立美術館

〒730-0014 広島市中区上幟町2-22 TEL.082-221-6246 FAX.082-223-1444

E-mail. ke.yamamoto@nomura-g.jp(山本宛)

担当 学芸課 山下寿水、事業推進課 山本恵子